

認定こども園、滋賀・彦根で起工 待機児童解消へ

滋賀県彦根市で公立として初めての認定こども園の起工式が30日、同市平田町の平田幼稚園であった。市は、市内に63人いる待機児童の解消につなげる、としている。

同幼稚園の老朽化に伴い、保育所と幼稚園の両方の機能を持つ認定こども園を敷地内に新設する。8月に着工、2017年4月に開園予定。延べ床面積1839・68メートルの木造2階建てで、総工事費は約7億円。幼稚園舎は解体する。定員は約60人増え200人となる予定。同市内のこども園設置は私立に続き2園目。

床や壁に県産木材を多く使い木のぬくもりを感じられる設計で、一時預かりをする保育室や地域子育て支援室も併設する。施工業者や教育関係者ら74人が出席した起工式で大久保貴市長は「好評を得られるすばらしい園ができると確信している」とあいさつした。



彦根市平田町に設置される認定こども園の完成イメージ＝同市提供